

～精神疾患は三大疾患の一つ～
こころの健康推進をわが国の基本政策に



こころの健康政策構想実現会議

2011年 4月21日 第10号

100万人署名推進ニュース

- 発行人：こころの健康政策構想実現会議
- 連絡先：〒337-0026 埼玉県さいたま市
見沼区染谷 1177-4 やどかり情報館
100万人署名推進委員会
TEL. 048-680-1891 FAX. 048-680-1894
E-mail cocoro-syomei@mbf.nifty.com
URL <http://www.cocoroseisaku.org/>

◆第2次署名集計作業に埼玉県内外から50名が集結！！。1次、2次集計で232,017筆達成

桜の季節もソメイヨシノから八重桜へと移り、震災により絶望的な被害を受けた東北地方にも、桜の便りが届き始めたこととニュースで伝えていました。被災された人々のこころにも春が早く来ようと祈るばかりです。

大地震で揺れた日から時が止まったように感じていましたが、少しずつ日常を取り戻し、4月16日(土)には、予定通りにさいたま市のやどかり情報館で、100万人署名の第2次集計作業が行われました。埼玉県精神障害者家族会連合会では、事前に署名用紙の確認作業を予定していましたが、地震の影響で実施できなかったため、この日は10時30分から作業に取り組みました。遠くは秩父から、川越・富士見・上尾・さいたま市などの家族17名が集まりました。中には、入会間もないため100万人署名のことも良く知らないという家族も参加し、この活動を知ってもらいたい良い機会となりました。午後には、都内からご家族の方々を始め、伊勢田先生ご夫妻、代々木病院のスタッフ、やどかり情報館関係者などが加わり、総勢50名が、最終時刻17時30分まで集計作業に取り組みました。作業ごとに3つのグループに分けられました。署名の有効性を確認するグループは、「〃」や「同上」、鉛筆書きの有無、どの一筆も無駄にしないように、心を込めての確認作業でした。10人に満たない署名用紙を振り分けるグループは、空欄のチェックはもちろんですが、「これはコピーしたものかしら」「町名まで書いてあるのに番地がないから残念だけれど無効」など、お隣の人と確認しながら慎重に作業を進めました。10人分が書き込まれた署名用紙を200枚1束に綴じるグループは、何枚か重ねた署名用紙にパンチで穴をあけ、200枚を紐で綴じていきました。少しずつ少しずつ、署名用紙の束が増えていきました。



署名用紙を手に取りながら、これだけの署名を集めるのは大変であったらうな、どのような方がどのような表情で誰に署名をお願いしたのだろうか…など、様々に想像が膨らみ、顔も知らない方々とのつながりを感じていました。中でも、東北地方の住所を目にすると、思わず「この方は今、どうしていらっしゃるのだろうか」と安否が気になりました。被災した地域の皆さまの復興のためにも、これまで集めた署名は大切な意味を持つものだ確信します。署名用紙を埋めている一筆一筆に、言葉にはならない思いが込められていると感じ、しっかりとこの署名を国会に届けて、きちんとした実効性のあるものにしていくためにできることを、今後も継続して取り組んでいかなければならないと思います。今回の集計結果は、2次集計136,600筆(4月16日)、12月25日の1次集計95,417筆と合わせると、合計232,017筆になります。時間切れで集計できていない多くの署名用紙が山とありますので、おおよそ30万筆になるかと思われます。今後の活動も期待できますので、50万筆突破の可能性が高くなってきています。大震災で全国一斉街頭署名活動が一旦延期になりましたが、これで終わらせることなく、また新しいスタートラインに立った気持ちで、力を合わせて100万筆達成まで署名活動をさらに展開していきましょう。



◆女優の音無美紀子さんから応援メッセージをいただきました

私自身20数年前うつとなり、大変つらい時期を過ごしました。当時、身の周りに何ら情報のない中でどこでどうやって治したらよいのか何もわからなかったのです。家族・友人たちの支えで治療の第一歩を踏み出すまで中にひきこもっていました。おかげで現在は回復し仕事(女優)に復帰しておりますがあの頃の苦しさ、辛さはなんだったのか?！と思うことがあります。経験した者として“こころの病”に対して色々な取り組みで頑張っておいでの方やみなさん達のお力になりお手伝いをしたいものです。

